



耳下腺腫瘍摘出術パス 入院診療計画書

OTY107

患者ID	主治医	病名	説明日
患者氏名 ()	担当医	管理栄養士	症状 <input type="checkbox"/> 事前検査による異常所見
生年月日: ()	看護師	特別な栄養管理の必要性	<input type="checkbox"/> 患部の自覚症状
病棟(病室)	薬剤師	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	()

月日	入院日・前日	手術前
患者目標	不安なく手術を受けることができる	
治療処置 注射 (内服)	現在使用している薬をすべて確認します(現在中止している薬も含む) 入院中に使用する薬について説明します アレルギーの有無等を確認します 	朝の薬は 時 分 に()を少量の水で内服します 手術前に点滴をします
検査	必要に応じて行います	必要に応じて行います
食事	常食(必要に応じて制限食)です 手術前日21時以降は食事を摂取することはできません 水分(水・お茶のみ)は摂取することができます	食事を摂取することはできません 水分(水・お茶のみ)は決められた時間で摂取することができます
排泄	制限はありません	制限はありません
清潔	シャワー浴ができます (必要な場合はお手伝いをします)	タオルで体を拭くことができます (必要な場合はお手伝いをします)
活動 (安静度)	制限はありませんが、病棟を離れる際は、スタッフに声をかけてください	病棟内でお過ごしください 手術室へ歩いて移動します (状態によっては車椅子やベッドで移動します)
説明 (指導)	入院生活や手術について説明します 麻酔科医師から麻酔について説明があります(全身麻酔の場合) 手術室看護師の訪問があります 義歯・補聴器があるかを確認します ネームバンドを装着します 	手術開始予定時刻は 時 分です 手術着に着替え、弾性ストッキング(血栓を予防する靴下)を着用します 装身具(時計・義歯・指輪等)を外します ご家族の方は病棟の食堂にてお待ちください (離れる時はスタッフに声をかけてください)
その他		

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます。 上記のとおり説明を受けました 年 月 日

※上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

説明を受けた人: 続柄

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

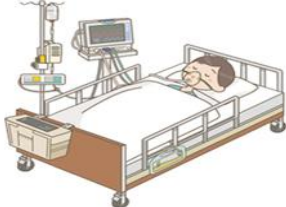


(本人・家族) ()

耳鼻咽喉科パス:

患者氏名

()

患者ID

月日	手術後	術後1日目
患者目標	手術後合併症を起こさない	
治療処置 (注射 内服)	自動血圧計、心電図モニターを装着します 酸素を開始し、足にはフットポンプを装着します 傷口付近より管が入ってきます 点滴をした状態で帰室します (翌日まで点滴をします) 	医師の指示により点滴、自動血圧計、心電図モニター、フットポンプが終了となります(状態によって変更があります) 医師の指示によりベッド上安静が解除となります 医師が手術部位を診察します 
検査	必要に応じて行います	必要に応じて行います
食事	食事・水分を摂取することはできません	朝食時から食事・水分を摂取することができます 常食(必要に応じて制限食)です
排泄	尿の管が入っています 排便はベッド上で便器を使用します	尿の管を抜きます 尿の管を抜いた後の制限はありません
清潔	翌朝まで手術着のままを観察していきます	病衣等に着替え、タオルで体を拭きます (必要な場合はお手伝いをします)
活動 (安静度)	手術後、ベッドで帰室します 医師の許可が出るまでベッド上で安静となります	医師の診察後からは病院内でお過ごしください口 (初回歩行時は、看護師が付き添いをします) 初回歩行後は、ふらつきなどがなければ1人で歩けます 歩行後、弾性ストッキング(血栓を予防する靴下)を脱ぎます
説明 (指導)	医師から手術結果の説明があります(当日お話できない場合もあります) 痛みが強い時や、気持ちが悪い時など、異常を感じた時は、すぐにお知らせください 麻酔の副作用(頭痛)予防のため、頭部を強く動かさないでください 	
その他		

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます。

※上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

耳鼻咽喉科パス:

患者氏名

()

患者ID

月日	術後2～3日目 ～		退院日
患者目標	手術後合併症を起こさない		日常生活に支障がない状態で退院を迎えることができる
治療 処置 注射 (内服)	医師が手術部位の診察をします 医師の指示により点滴の針を抜きます 医師の指示により術後2～3日目に傷口付近の管が抜けます		退院時に処方がある場合は、薬剤師からお渡しします (不在の場合には看護師からお渡しする場合があります) ネームバンドを外します 体温計を回収します
検査	必要に応じて行います		退院後の過ごし方、次回外来について説明をします 次回の外来予約票と診察券をお渡しします 会計担当者が、お部屋へ伺います(開院日) 会計の説明を聞いてからの退院となります (状況によっては、多少お待ち頂く場合がございます)
食事	常食(必要に応じて制限食)です		
排泄	制限はありません		
清潔	タオルで体を拭くことができます	医師の許可があればシャワー浴ができます	
活動 (安静度)	制限はありませんが、病棟を離れる際は、スタッフに声をかけてください		
説明 (指導)	痛みが強い時や、気持ちが悪い時など、異常を感じた時は、すぐにお知らせください		
その他			



※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます。

※上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

耳鼻咽喉科パス: